

# 土岐・運・来

会報「土岐・運・来」第23号

発行 自然・馬・人の会

発行日 2003年10月5日

只今の会員数 正会員 55名

協力会員 32名

賛助会員 2名

## 個人カードを自分で書いてみよう。

～伊勢原市・日比野茉莉ちゃん(10)、友海ちゃん(9)  
の『個人記録カード』を紹介

茉莉ちゃん、友海ちゃんの姉妹は、ほぼ毎回のように、『個人記録カード』を自分で書いています。自分のことを自分で書いていると、自分がこれから何をしたらいいのかも、たまに浮かんできて、とても役に立つと思います。他の人もぜひやってみよう。

### ●友海ちゃんのカードから

2002年10月6日

はしったよ。楽しかったよ！

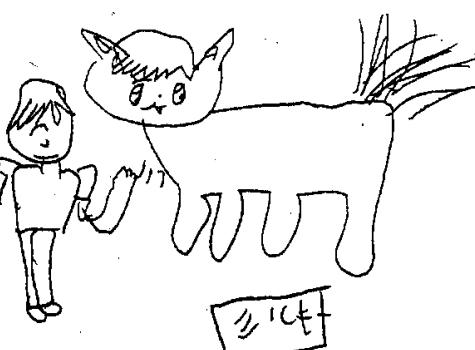
※左下の絵は、その時の様子。走って、ガツツポーズしたんだよね。

2003年3月16日

やっほー、はしってきもちよかったです！  
はなはばにばにイエーイ！

2003年7月20日

たずなをもちました。はじめてだったので、さいしょは、きんちょうしたけど、あとになってなれてきました。たずなのやり方を知りました！とまる時はひく！  
※とても気もちがわかりやすい。走った日は文章まで走ってるよね。



- ・個人カードを自分で P.1
- ・小動物は今でも・・・ P.2
- ・おねえちゃんは、動物大好き、  
洋輔も少しほは・・・ P.2
- ・今度はおかあさんも・・・ P.2
- ・ボランティアの動機は、「たまたま」  
でいいと思う。 P.3
- ・私のことおぼえているかなあ P.3
- ・会員紹介コーナー P.3～P.4



### ●茉莉ちゃんのカードから

2002年7月14日

一番つかれちゃったのは、馬に立ってのった。でもつかれたけどとってもたのしかったからまたくる。

2003年3月16日

もっと大きなうまにしてほしい。でもたのしかった。今日は、すらろーむ（スラローム）をやった。

※こうして、つかれたこと、いやだなと思ったことを書くことは、楽しかったことをかくよりも役に立ちます。とてもいいことを書いているなあ。さすがだね。

ところで、「大きな馬にして」と言った時、ボランティアはなんて答えたかな？

(文責：広報・坂梨)

## 小動物は、今も実は こわいんだけど・・・

小田原市・「あーちゃんママ」さん

晃が初めておうまさんにならったのは、軽井沢でした。3歳です。小動物をさわるのもこわごわだった晃（今もこわい）が馬にのって人参をあげている。

昨年小5の時、学校の先生の紹介で、見学にいき、小さな子供さんがのって楽しそうにしているのを見て、『のってみる？』『のりたい・・・』と晃。10月頃から参加させてもらい、今年から正会員になりました。今はのるだけですが、ボランティアの仕事もさせて、馬と仲よくふれあえればと思っています。これからもよろしくお願ひ致します。

(7/27)

◆晃くんは、ちょっとイタヌクなところがあるけれど、身体での覚えが早い。一度や二度の参加で達成感も強くこなした。

◆いつも「フーフー」言いながら、お兄ちゃんを追っかけてる、お父さんのコメントもおききしたかったのですが・・・。

## お姉ちゃんは動物大好き、洋輔も、少しさは・・・。

横浜市・「亜衣と洋輔の父」さん

10歳の娘と、9歳の息子が4回ほど参加しました。全盲の娘は、動物が好きで、馬に触るのがお気に入りです。一方、息子はおそるおそるブラシをかけますが、順番になると、急いで乗馬台で待ちます。

最初の頃は、順番待ちの間は大騒ぎしましたが、ボランティアさんが一緒に遊んでくれることもあって、静かに待てるようになりました。普段少しはカッコよく、半分は緊張して騎乗しています。

(7/29)



## 今度はお母さんも チャレンジ！！

小田原市・「こすけちゃんのママ」さん

乗馬会は、家族で参加しています。もともと待つ事が苦手な息子。いつも自分の番が来るまでげんが悪いのですが、何故か馬に乗ると落ち着き真剣な表情になります。

娘は、始め怖がっていましたが、1回2回と参加回数が増えると慣れてきて、「今度はいつ馬に乗れる？」と聞き、とても、楽しみにしています。

今度は、私もチャレンジしてみたいです。

(8/1)



◆お姉ちゃんの方は、とてもきれいに馬に乗り、とても全盲とは思えません。一方の洋輔くんは、落ち着かないけど、明るいからとてもよろしい！

## ボランティアの動機は、 「たまたま」でいいと思う。

小田原市・(ボランティア)久世孝子さん

私は、中村先生に誘われて、たまたまボランティアとして参加しました。そこでの印象は、馬好きな人っているんだなあと、新鮮なものでした。会の運営は綿密で用意が行き届き、多くの人の力が結集されているエネルギーに敬服しています。

まだ、3回ほど参加の私は馬にふりまわされていますが、ハンティキャップのある方が馬を乗りこなしている姿にもびっくりしています。

私の家族は、当日私の送迎や、空いている時は「行ってもいいよ」と言ってくれます。

ボランティアにきまじめに参加ではなく、たまたまでいいと私は思っています。

(8/27)

◆この「たまたま」ってのが、実はボランティアには重要な精神なのかもしれませんね。

◆高1の畠さんは、福祉施設での経験を活かしての参加。子どもの相手は、馬の会の重要な仕事です。期待していますよ。



## 子どもたちは、私のこと 覚えてくれているかなあ

秦野市・(ボランティア)佃 美穂さん

私自身、馬に触れるのは、初めてでした。実際に子供たちを乗せる前に、しっかりと研修をしていただけたので、本番もスムーズにできたと思います。

私は、福祉関係の仕事に興味があるので、今回いろいろな子供と接して沢山の事を学びました。色々な感情表現があること。最初は、落ち着かなかった子がだんだんおとなしくなって、会話ができるようになっていくこと・・・。

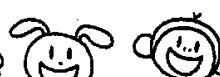
次回、また子供たちに会った時、「私のコト覚えていてくれるかなあ」と少しだけ期待しています。ぜひ、これからも参加したいです。

(7/23)



## 《会員紹介コーナー》

ミルキーとハイジの♪



## 『会員さんに聞きました！』

祐羽ちゃん、「ボランティアしたい！」



そのわけは・・・。

～小田原市・森川新一さん、京子さん



祐羽ちゃん

いつもお父さんと一緒に祐羽ちゃん。ほのぼのして、とってもいいなあと思っていました。その祐羽ちゃんの名前がボランティア名簿に？！そこで、今回の登場家族を森川さんに決めました。さっそく2人にインタビュー。

— 馬の会に来るようになって3年、これまでの祐羽ちゃんの変化を教えてください。

(父) 最初は、どうせ続かんだろうと思っていたんですよ。それが意外と次の回ぐらいには、「お馬さんは？お馬さんは？」って言いましたからね。嫌なことは絶対口にしませんから。今でも雨で中止になると「う~ん」とてね、とても残念がる。

— 最近よくお話をするようになったと思うんですが・・・。

(父) 自分の意志をかなりはっきり言うようになりましたね。「イヤ」って言うのが好きなんですが、これは「イヤ」と言うことで、相手がどんな反応をするか試しているんです。「イヤ」と言って、聞いてくれたら、「あっ、この人は味方だ」とかね、そうやって楽しんでいる。



以前は、本当に嫌なのかどっちかわからんところがあったんですが、今は自分でいろいろ言ってくれるから・・・。

みなさん、声を掛けてくださいますしね。ウッキーさんなんか、よく何も言わないで、いきなりコチョコチョとかね、ああいうやり方に、本人弱くて、「あっ、この人は味方」なんて思ってしまう。

同年代の子とは、まだまだなんですが、大人の人には話ができるようになってきました。

— 今、何年生でしたっけ？

(父)4年生です。特殊学級にいるんですが、一般的のクラスに参加する時間もあるんです。そこでね、何かの歓迎会だのあるでしょ。その時に、自分の作ったものを持っていくことに興味が出てきた。チョコとかキャラメルとか、作っていくと喜ばれる。喜ばれるから、また作っていくんだって。

お菓子の本、ありますね。大人向けの。それを毎日寝る前とかに読んでいる。

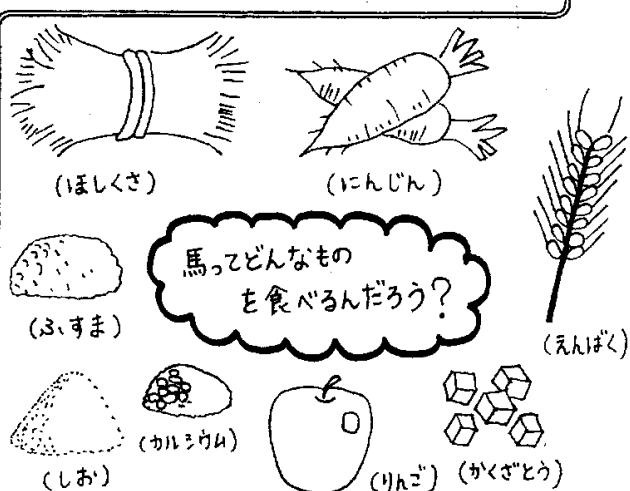
— 馬の会ではボランティアまでするとか！

(父)それってホントなんですかね。ねえ、祐羽ちゃん、ボランティアするの？(笑)  
(祐羽)・・・・。(考え中)

(7月20日取材)

— ☆ — ☆ — ☆ —  
\* (ここでお母さんからのお便り。さて、祐羽ちゃんは何故ボランティアがしたいの？)  
(母)私の体調が悪いことと、他の用事が重なることが多く、馬の会には、祐羽と父親が参加することがほとんどです。たまに私が参加できる日があると、今度は、祐羽が「ママは行かないの。パパと2人で行くの！！」と言われてしまいます。「お母さん、ボランティアのお仕事させてもらうから、ちゃんと行かなきゃ行けないの」と何度も言いきかせているうちに、「祐羽もボランティアする。お仕事するの！！」と言い始めました。祐羽にできることは少ないですが、何か“自分の仕事”といえるものが見つかればいいなと思っています。

(7/26)



次回の定期乗馬会は、  
11/2(日)、12/14(日)です。



後援：小田原市

助成：子どもゆめ基金・ともしひ基金実業事業

「自然・馬・人の会」 会長 桜井 広利  
〒250-0045 小田原市城山1-3-22  
TEL 0465-32-1308 FAX 0465-32-1332  
E-mail na-nhp@wb3.so-net.ne.jp(中村)  
ホームページ http://dhi.cool.ne.jp/uma/



●いつもどおり、「馬を安全に引く」がテーマ。馬を動かす——ということは、馬とコミュニケーションするということ。言葉の通じない馬に、どうやって意志を伝えるか。馬がどうやって理解してくれるか——そのことを実感するのが、牧場研修のポイント。

### 《参加者の研修内容記録》

#### ◎石河明子さん（初）

前進気勢の強い「くるみ」をいかに抑えて引くか、馬との距離をポイントに厳密なひき馬練習。後半は「腰痛で立ち乗りなら」と、和あぶみによる立ち乗りを初体験。足、つま先やった。

#### ◎興津薫さん

くるみの引馬は石河さんに同じ。少しづつ慣れていく。後日にサドルバックの出張乗馬の手伝いをひかれていたため、ミルキーのひき馬練習。お客様の子どもを乗せて実習。

回数を重ね、じっくり馬とつきあうことごと、確実に上達している。

【☆オプション企画☆】この日の夕刻、「草刈隊」と称し、徑行・由紀子・薫が、鎌などをそち騎乗。牧場散歩コースの保守を行なう。小夏も同行していろ。

#### ◎中島由紀子さん

9月葉馬会で担当した「ハスキー」と、屋すぎまで徹底しこつきあう。足あげも、人がそちあげるのではなく、ハスキーの意志であげさせることまであえてやってみる。

#### ◎中村悦子さん

石河さん・中島さんのサポートのほか、和あぶみをつけこの騎乗に夢中。「立ちあがった」とのによう。

#### ◎小夏(ポニーの仔馬・2才)

今回は馬装からみんなど一緒に。言うことをよく聞いと、ススメ・ハシレ・トマレなどがござるようになつたばかり。20kgの荷物をこの日はじめて負い、山歩き。ようやつた！いつかは乗馬会に——が夢。(?)

次へ記録へ 坂梨勝一

私たちの乗馬会にくる、いつもの馬たちがくらす「サドルバック牧場」での牧場体験会のお知らせです。みなさんに年一度でも、日がな一日牧場で中ったりと、本格的な馬の楽しさを味わっていただきたいと思い、企画してみました。ひき馬ではなく、自分ひとりで馬をあわつる体験もできる、貴重なチャンス！ どんな事も悪いきり牧場を駆けまわってみようよ！

—自然・馬・人の会 スペシャル企画 —

「秋の牧場体験会」

# 秋の牧場でうまにのこう

（日にち）11月16日（日）（ところ）「サドルバック牧場」

10:00～16:00

（小田原市江の浦415 TEL0465-29-0830）

（内容）10:00～ あいさつと説明

10:30～ みんなの会「ひとりで馬をあわつれるか？」  
（まずは練習。できるだけひとりでやるぞといいよ!!）

12:00～ お昼の会「みんなでかこもう野外のお料理」  
（レストラン・サドルバックのめぐらさんによる「べっぴん料理」）

13:30～ お散歩の会「山あり谷あり、馬で牧場一周」  
（牧場内の散歩コースで、馬にのって、みんなで散歩に行こう）

15:00～ 「こんじんタイム」スペシャル  
（今日は特別！みんなと一緒にやりましょう）

（集合）JR根府川駅前 9:00

（参加料）基本料（昼食代）1000円 騎乗料 5000円  
（※3才未満の昼食代は無料です。）（※馬にのる方、1名あたり100円）

（定員）騎乗者の人数ごとに16名

（申し込み方法）10月5日（日）先着順で、定員になり次第〆切です。

(6) 11/16(日)

「東の牧場体験会」  
にご協力下さい~

いつもご苦労さまです。

乗馬会に来るいつもの子どもたちに、年一回でも、日がな一日牧場でゆきり遊んでもらい、さらにひき馬ではなく、自分ひとりじめ馬をあやつる体験をしてもらいたいー。そのことで、今後の通常の東馬会での内容も、ひとりひとり成長してゆくのがほむかー。そんな発想から、別紙のとおり、東の牧場体験会を企画させていただきました。

この企画にご参加下さいボランティアスタッフを募集いたします。気が早いように思われますが、今回につきましては、牧場への参加者送迎などの伴があり、事前に集約いたしく思うのです。

あれしいとは存じますが、何とぞご協力下さい。

(企画提起) 自然・馬・人の会 坂梨 勝一

TEL/FAX 045-903-6203 携帯 090-4617-4858

\*定期東馬会は11月2日(日)にございます。

(日時) 11月16日(日) 9:00~17:00迄 サドルバック牧場にて

(集合) 8:30 JR根岸駅前

(内容) •受付(朝のみ、参加費収集など) → 届食会の準備

•ひき馬、介助、馬装 •送迎

•馬に乗っていい子の相手 \*馬に乗っていい子への遊びの企画に困っています。アイディアをあわせ下さい。

(届食会費) 1000円

(参加申し込み) ①氏名 ②TEL(当日用ケイクあらば) ③参加交通工具  
の~④事項をお伝えいただき、下記まで。※ 10月5日(日)集約日

◎中村悦子 TEL/FAX 0465-36-9468 &lt;na-hkp@wb3.so-net.ne.jp&gt;